大山田・多度地区のふくし情報紙

叶～る

〔北部西地域包括支援センター・福祉なんでも相談センターだより〕

第21号

～「できること」を大切に。新しい「認知症観」をご存知ですか？～

認知症は、特別な病気ではありません。
「できないこと」に目を向けるのではなく「できること」や「やりたいこと」を一緒に見つけ、
支え合うことが大切です。

これまでの考え方

【☹お世話するだけの考え方】

✕**できないことばかり**に目を向けて、危ないからと行動を止めてしまう。

✕本人の気持ちを聞かず、なんでもまわりが**決めてしまう。**

✕認知症になったら**「人生の終わり」**のように絶望してしまう。

これからの考え方

【☺一緒に生きるやさしい考え方】

✓工夫や手助けによって、**できることを長く続けていく。**

✓「どうしたい？」と尋ね、**本人のやりたい気持ちを大切にする。**

✓**みんなの接し方が少し変わるだけで、穏やかに暮らせる。**

認知症になった人からの「3つのおねがい」

「心は変わっていません」
言葉や動作がゆっくりになっても、
感情やプライドはしっかりと
生きています。

「奪わないで」
先回りして何でもやってしまうと、
自信がなくなります。
一緒にできる方法を考えてほしい。

「役割を持ちたい」
社会や家族の役に立ちたいという
思いは変わりません。
居場所を通じてつながりたいです。

お家や地域で「今すぐ」できる工夫の具体例

□お皿並べやお箸配りなど、できることをお願いする。最後は「ありがとう」を伝えるのがコツです。
□ゆっくり待つ。“ゆっくりでいいよ“という気持ちが、あたたかい街を作ります。
□地域の行事に誘ってみる。一緒に参加してもらうことで、元気とやりがいが生まれます。

（参考：R7年度認知症推進員研修資料）

北部西地域包括支援センター・福祉なんでも相談センター

介護や障がい、子育てのことなど、福祉に関することをまとめて相談できる窓口です。
「福祉の情報を知りたい」「相談先が分からない」などお気軽にご連絡ください。

○北部西地域包括支援センター
多度福祉なんでも相談センター
受付場所：多度すこやかセンター内
開所日時：月～金曜日 8:30～17:15（祝日除く）
電　　話：0594-49-2031

○北部西地域包括支援センター
福祉なんでも相談センター
受付場所：光精工コミュニティプラザ内
開所日時：火～日曜日 9:00～17:00
電　　話：0594-41-2114

このまちの『薬剤師さん』！



○かわはし薬局
住所:桑名市筒尾９丁目 7-16
電話:0594-31-5500

コラムテーマ『昨今の認知症治療薬について』

かわはし薬局　薬剤師　川橋　洋介　先生

昨今の認知症治療薬について 2026 年 5 月、約 9 年ぶりに「認知症疾患診療ガイドライン 2026」が発刊され、認知症は「発症してから治療する」から**「発症前・早期に発見し介入する」**時代へと大きく変化しています。

特に重要なのが「アルツハイマー病連続体」という考え方です。症状が出る前から、軽度認知障害（MCI）、認知症までを連続した病態として捉え、**早期発見・早期診断の重要性**が強調されています。

また、昨今話題のレカネマブ（レケンビ）やドナネマブ（ケサンラ）などの抗アミロイドβ抗体薬は、アルツハイマー病の進行を遅らせることが期待されています。
ただし、**対象は比較的早期の患者さんで、誰でも使用できるわけではありません。**

認知症にはアルツハイマー型、レビー小体型、血管性などさまざまな原因があり、睡眠障害やうつ病、薬剤、ビタミン欠乏など改善可能な病態が隠れている場合もあります。「年齢のせい」と決めつけず、気になる物忘れがあれば**早めに相談することが大切**です。治療だけでなく、運動やリハビリ、社会参加、家族支援などを含めた総合的な支援も重要です。薬局でもそういった相談を受け付けておりますので気軽にご相談下さい。

当センターの認知症啓発に関する取り組み

【認知症みんなで安心声かけ訓練】





多度すこやかフェスタ

【アルツハイマー月間の展示】





ふるさと多度文学館

【認知症サポーター養成講座】



大山田南小学校



多度学園

【その他】

- オレンジカフェ（認知症カフェ）を年4回開催
- 認知症ケアパスや軽度認知障害のチラシ配布
- 認知症伴走型総合相談窓口との連携